

# 地域連携推進会議 会議録

作成：障がい者支援施設グリンハイム

地域連携推進会議の目的は、事業所と地域の連携による①ご利用者と地域との関係づくり、②地域の人への施設やご利用者に関する理解の促進、③サービスの透明性・質の確保、④ご利用者の権利擁護となります。

## 【地域連携推進会議】

日時：2025年11月25日(火)14:00～16:00

場所：グリンハイム1階多目的ホール

出席者：ご利用者1名、ご利用者家族1名、地域関係者1名、福祉・経営に知見のある人1名、

施設職員7名、札幌市障がい福祉課職員2名

## 【議題】

①地域連携推進会議の概要、主旨の説明

②グリンハイムの概要説明

③運営内容と職員体制

ご利用者の生活状況、ご利用者の日常生活の様子、職員育成について

④ご利用者の権利擁護

リスクマネジメント委員会、虐待防止・身体拘束等適正化委員会、接遇向上委員会について

⑤法人及び施設の経営

2024年度経営報告、今後の経営方針～「地域連携について」

⑥意見交換、その他

## 【出席者からの質問、要望、感想】

### 【ご利用者】

・長く生活しているが、楽しく過ごせている。本日の会議は楽しかった。

## 【ご利用者家族】

・ここを出るとなつたらどうしたら良いかと思う。入院の時などは心配になる。状況変化があつた時にはすぐに連絡をいただいた。状況が早めに分かって、受診対応いただき良かったと思っている。受診付き添いにこんなに時間が掛かることは初めて知った。対応に感謝している。予定が合えば家族が行つても良いかと思った。何かあれば、衣類の整理やその他の生活のことで協力したいと思っている。

→施設からの回答：今後もしっかりと支援していきたいと考えている。

## 【地域の関係者】

・一言でいうと生活の場であると感じた。本当にきつと/orしてていて、徹底している。職員に対するフォローやご利用者にとっての楽しみ、得意なことにも配慮してて感心した。見学中、職員に声を掛けると丁寧な対応があった。

・事故について、3年間の件数推移をみると減少しているが、件数ばかりではなく、中身が大事である。ヒヤリハットの件数や中身も大事であると思うので、着目してもらつたら良いと思う。

→施設からの回答：ヒヤリハットについては委員会で取り組んでいる。ヒヤリハットは職員間で共有し、グループで内容を検討している。また、委員会でも協議し施設全体で共有している。

・石山は福祉関係の施設が多い。声を掛けて社協に加入してもらった経過もある。社協との地域連携が必要であると思う。一人で支援なく生活している方、外見的には障がいがあると分からぬ方もいるので、見守り体制など施設との連携が必要で、地域の方に施設を知つても良い連携が取れると良いと思う。施設の特色など情報交換出来れば良いと考えている。

## 【福祉・経営に知見のある人】

・日頃より施設間で連携している。広報力が素晴らしい。職員の接遇など感じ取れた。外国籍の職員採用について紹介いただき採用に繋げている。石山地区の中で活動されているので、お互いに発展し、地域で連携が出来れば良いと考えている。